

1 5 5
隔 月 刊

10月

http://www.netlaputa.
ne.jp/~yamanote

あたたかい介護をお届けします

まごころサービスだより

●発行 NPO法人東京山の手まごころサービス
 ●編集 広報 〒169-0075 新宿区 高田馬場1-32-7 信ビル 301
 ☎受付 3205-6813(留守電共)・3205-7900 FAX 3205-6766

「コロナ禍」 介護事業の苦闘

代表 服部万里子

コロナは衰えていない

都知事は9月10日に感染症のレベルを最高の3から2へと下げ、9月15日からはカラオケ、飲食店の営業時間短縮を解除、一方、政府は9月19日からイベントやスポーツ観戦の制限を緩和、10月1日からは政府の観光需要喚起策「Go To Travel キャンペーン」に東京を復活させる方向になりました。が、世界的には感染の勢いは衰えることなく、世界の累計感染者数は17日現在で、3000万人を超えています。移動制限を緩めた欧州でも感染者が再び増加していて、依然として収束への見通しは立っていないのが現状です。

まごころサービスでは

「新しい生活様式」に沿って対応

コロナ禍において、「まごころ」ではご利用者に対して、「新しい生活様式」に対応した取り組みを行っています。具体的には、「換気の悪い密閉空

間」「多くの人の密集」「近距離での会話」の3密を避けると同時に、「マスクの着用」「手洗い消毒」「換気」を実践。とりわけ、猛暑のマスク装着は活動する職員にとって過酷で、水分、塩分の補給といった熱中症対策を講じながら乗り越えてきました。また、「使い捨て手袋」「フェイス・シールド」「感染予防衣」なども準備。ご利用者やそのご家族、介護スタッフには状況に応じて「発熱・感覚障害（嗅覚異常や味覚異常など）・風邪症状」等の届け出をお願いし、保健所の指示に従いPCR検査を受けていただいております。

「コロナ禍の雇用性萎縮が問題に

巣籠りが続き、要介護者の心身の機能低下や気持ちの落ち込みが問題になっていきます。不安感から鬱症状がみられるご利用者も。ご家族の負担感も増してきています。感染対策に加え、7月の長雨、8月の猛暑、9月の台風と豪雨で身も心も休む暇がありません。到底、コロナ疲れと一言で片づけられるものでもなく、ここは用心深く、体調と気力の回復に努めていきたい

ものです。

コロナとインフルエンザの

同時流行は避けられない

新型コロナウイルスの感染は未だ収束していないため、この先、インフルエンザとの同時流行が懸念されます。そこで、インフルエンザがはやる前に、備えを万全にしておく必要があります。新型コロナウイルスと異なり、インフルエンザには「ワクチン」と「治療薬」がありますので、高齢者や持病のある人は必ず接種していただきたいと思います。因みに、9月の時点で、インフルエンザ患者数が昨年同時期に比べ1000分の1以下と厚労省が。コロナ対策による副次的効果とも考えられ、手洗い、うがい、そして、マスクの装着がいかに大切か、いうまでもありません。時節柄、お風邪など召さぬようご自愛ください。



■東京山の手まごころサービスの

「介護能力向上」のための取り組みについて：事務局より

まごころサービスでは、内閣府で創設された「介護プロフェッショナル キャリア段位制度」の導入により、「介護技術の標準化」「指導方法・指導内容の標準化」を推進しています。

※キャリア段位制度とは、成長分野における職業能力を評価する仕組みで、事業所ごとにバラバラになることのないよう、共通の“ものさし”に基づいた人材育成を目指すものです。段位の評価は「実践的スキル（できる）」と「知識（わかる）」の両面から行い、内部評価（介護職員の日頃の仕事の様子や、業務報告・記録等を実際に見て評価する）及び、第三者機関による外部評価（当該事業所において、評価が適切かどうかを見定める）が加わります。

これにより、ご利用者への対応や介助方法について、意見交換の機会を増やし、より一層、質の高いサービスを提供していきます。

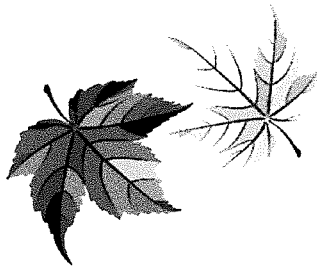
については、事務所内で職員の評価を行う「アセッサー（評価者）」の選任が必須となり、当事業所では、講習の受講、申請を経て、既に2名の登録が完了しています。

※アセッサーは、被評価者（介護職員）の実践的スキルの度合いを評価すると同時に、被評価者の技能向上を支援する役割も担っています。

因みに、「介護技術の再確認」「介護の慣れから自己流になっている技術の改善」「実際の介護現場で何ができるのか」等を顕在化することで、実践的スキルの向上につなげていきます。

また、「介護プロフェッショナル」につきましては、既存の国家資格制度や研修制度との関係も考慮、とりわけ実践的スキルの部分を重点的に評価するものです。これについては、現在、既に、レベル2の認定者3名、レベル3の認定者1名の登録が完了しています。

当事業所ではさらに、ご利用者の状態像に応じた介護や、他社との連携を行うための幅広い知識・技術を取得し、的確な介護が実践できるように取り組んでまいります。ご利用者はじめ、関わる多くの皆さまにつきましては、ご理解、ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。



教えてご隠居さん

知らぬことならば「ご隠居に聞け」とばかりに今日もまた
“熊さん”がやってきた。【コロナ禍の冠婚葬祭】



熊さん『留吉の葬儀は、通夜をせず、告別式と火葬だけの1日葬（家族葬）にするそうです。友人代表で参列するんですけど、マスクをしていいんですか』

隠居『むしろ、マスク着用がマナーだ。今は、コロナ感染予防から、参列者の人数を制限したり、通夜や告別式の会食を禁止してる斎場もあるので、1日葬が多い。食事もカタログギフトに変更しているそうだ』

熊さん『おっかあが参列できず残念がっていました』

ご隠居『高齢でしかも持病があるから、この状況下では家で静かに故人を偲ぶことが何よりの供養ではないかと。無理に参列して発病でもしたら、それこそ亡くなった方も浮かばれない。因みに、我が家から故人を送る「ステイホーム葬」というのもあるそうだ』

熊さん『自宅で葬儀ですか』

ご隠居『出棺後、火葬場へ移動することなく、火葬・収骨は葬儀社が代行し、ご遺骨は自宅まで届けてくれ

るシステムだ』

熊さん『それもまた、新しい生活様式なんですね』

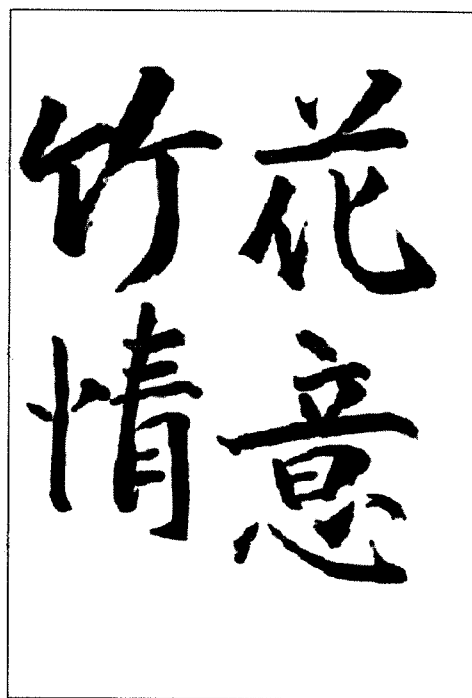
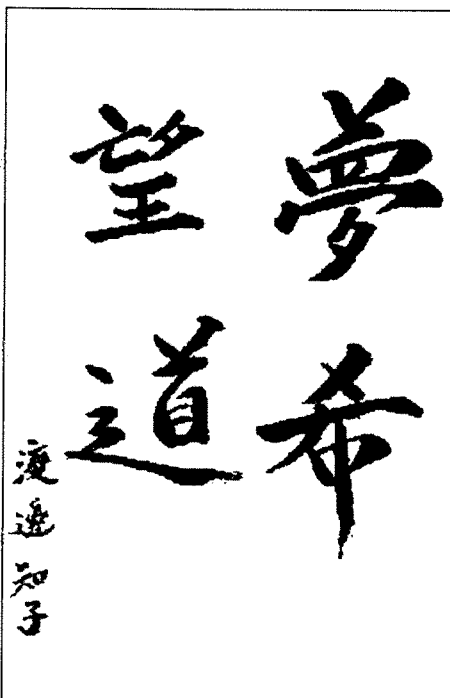
ご隠居『因みに、葬儀への参列をお断りする場合は、喪家にその旨を丁寧にお話しすること。そして、先方が辞退されてない場合は、早目にお香典やお供物をお送りすることだ』

熊さん『で、秋には姪っ子の結婚式がありましてね、勿論、内輪ですけど』

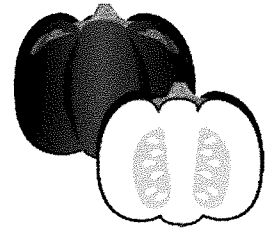
ご隠居『それは目出度い。気をつけるのは、会場でお酌や回し飲みをしないこと。大声を出す余興も控える。写真を撮るにしても密着しないポーズで。欠席の場合は早目に連絡する。式の1カ月前に欠席することが分かっているなら、ご祝儀は相場の半額程度が一般的だ。日数が迫っていたり、急遽欠席するといった場合は、出席していたら包んでいたはずの金額を、というのが相場。ま、これは、あくまでも参考として』

まごころギャラリー

まごころギャラリーは読者投稿欄です。習字、俳句などの作品をお寄せください。ご応募はまごころサービス事務局迄。作品は返却いたしません。



渡邊 知子氏（ご利用会員）



お知らせ

新型コロナウイルス感染症の流行にともない当分の間、「まごころこめめ倶楽部」の開催を見送ることにいたしました。楽しみにしていられっしやる皆さまには本当に申し訳なく思っております。どうぞご理解のほど宜しくお願い致します。

※地域生活支援事業「まごころこめめ倶楽部」は、高齢者、障がい者、そのご家族が気楽に交流できる居場所づくりを目的とした、まごころサービスのボランティア事業です。

賛助会員のご支援いただき

ありがとうございます

- 矢野 由美子様
 - 吉嶋 章行様
- (順不同・令和2年9月現在)

営業時間外

緊急時のご連絡について

※平日時間外及び休日のご連絡は左記の番号におかけください。なお、留守番電話は転送されますので「お名前とメッセージ」を録音して下さい。

- 東京山の手まごころサービス
電話 03 (3205) 6813 代表
- 事務局の営業時間(平日) 月曜日～金曜日 9時～18時まで
- 事務局の休業日(サービスは通常通り提供しております) 土・日・祝日他、年末年始、夏季休業期間については、前もってお知らせします。

訪問介護員大募集中!

ヘルパーさんが不足しています。お知り合い、お友達、ご親戚の中に協力会員として登録可能な方がいらつしやいましたら、経験や資格の有無に関わらず、ご紹介いただければ幸いです。また、家事の得意な方も歓迎いたします。なお、心ばかりではございますが、謝礼を用意しております。(事務局)

**活動実績報告・活動時間
(令和2年4月～令和2年8月)**

	令和2年 8月	令和2年4月～ 8月合計	令和2年4月～ 8月迄の月平均
移動支援	220.0	885.0	177.0
介護保険	615.3	2920.2	584.0
回復・リフレッシュ	46.0	176.0	35.2
自費・マイプラン	223.0	1130.0	226.0
重度訪問介護	164.0	757.0	151.4
居宅介護	597.2	3191.1	638.2
同行援護	503.5	2138.0	427.6
日常生活支援 総合事業	217.5	1136.0	227.2
総計	2586.5	12333.3	

編集後記

9月に開催された、全米オープンテニス・女子シングルスで、大坂なおみ選手が2年ぶり2回目の優勝を果たしました。その快挙は、次世代の女王として、これからの黄金時代を予感させる試合でした。自粛期間中、対戦相手の弱点をいかに攻略するか、そのトレーニングを集中的に行ったそうです。身長182cm、体重75キロの恵まれた身体能力を武器に、彗星のごとくトップアスリートに上り詰めた彼女ですが、課題はメンタルの弱さでした。それが今回、見違えるような成長を遂げ、きつちりとメンタルをコントロールすることで、勝利を手にしました。今後さらなる快進撃を期待したいと思います。気持ちが悪く落ち込むことばかりが続くなか、徐々に心躍る、嬉しいニュースでした。 西野(智)

